

国立大学法人 長岡技術科学大学
令和元年度第3回経営協議会議事要旨

日 時 令和2年1月24日（金）13時27分～15時13分
場 所 KKRホテル東京【丹頂】
出席者 東議長、天羽委員、池田委員、大貝委員、五味委員、関委員、谷口委員、中野委員、
鎌土委員、大石委員、秋山委員、和田委員、中出委員、湯川委員
(議事の表決委任による出席 磯田委員、合田委員、トラン委員)
陪席者 齋藤監事、滝上監事、梅田附属図書館長
事務局 総務部長、企画・広報室長、総合情報課長、総務課長、人事労務室長、財務課長、
監査室長、総務課専門員、財務課専門員、総務課総務係長、
総合情報課IR推進・評価係員、総務課総務係員

議事に先立ち、東議長から令和元年度第2回議事要旨(案)について説明があり、案のとおり承認した。

審議事項

1. 就業規則の改正について

秋山委員から、令和元年人事院勧告に伴う一般職の職員の給与に関する法律の一部改正に沿い、職員給与規則及び役員報酬規則を改正すること、並びに関係の就業規則を人事院規則に準拠した改正を行うことについて、資料1に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

2. 令和2年度長岡技術科学大学予算編成重点方針について

秋山委員から、関連する事項として「令和2年度長岡技術科学大学予算の内示について」の報告があり、その後、資料2に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は以下のとおり。（○：学外委員からの質問、意見等 ●：大学からの回答）

○安定的な財源確保の点で、企業との共同研究費の間接経費を10%から30%として実施してほしい。

●企業との交渉が難しいと思うので、コーディネーター等を臨席させ間接経費の必要性を理解いただくようにしたい。

○当社では企業のスタートアップ支援を行っている。新潟県の助成もありスタートアップする会社が増えているが実業化していくノウハウがなく、本学で行っているような教育支援を望んでいる。

また、新潟県の団体が主導し地元の私立大学の学生が会社に来て一緒に支援を行っている。地域貢献の観点からも本学にも参画してもらいたい。

●昨年度採択された卓越大学院事業は、まさに起業を支援するプログラムである。本学の開学

からのビジョンでもあり、人材育成やサポート体制等どのように協力できるか検討したい。

○第三期中期目標期間で掲げられている「諸課題解決」ができる人材だが、課題解決だけでなく課題や変化に対応し、変化を形成する人材が求められている。

3. 監事に求める役割、人材像について

秋山委員から、令和2年9月に就任する監事候補者の推薦において、監事に求める役割、人材像について、資料3に基づき説明があり、審議の結果、記載の一部を修正することとし、修正については学長に一任することとした上でこれを承認した。

○「精通する」と表現すると候補者の範囲が絞られてしまうのではないか。「内容を理解する」など表現を工夫されたい。

報告事項

1. 大学機関別認証評価における訪問調査時の指摘事項の対応について

鎌土委員から資料4に基づき、報告があった。

2. 令和2年度長岡技術科学大学予算の内示について

秋山委員から資料5-1、5-2に基づき、報告があった。

また、1月23日に文部科学省から追加の内示を受けたことについて口頭説明があり、詳細については次回の本会議において報告する旨の説明があった。

3. 新年俸制（案）について

秋山委員から資料6に基づき、令和2年4月から開始する新年俸制（案）の概要について報告があった。

○評価反映額の内容でS評価が最大で+40%となっており多いと感じる。また、マイナス評価については、どのような事例が該当するか。

●間接経費が多くなってくれば、大きな見返りとなるようにし教員のモチベーションを向上させる狙いがある。

また、マイナス評価については通常の業務を行っている上では想定していない。

○企業ではコンプライアンス違反があった者はマイナス評価となる。

以 上